

*** 乗鞍コロナ観測所から「コロナ」の焼印を収蔵**

乗鞍コロナ観測所が2009年度で観測を終了し、閉所作業が進んでいる。その作業の一環として25cm コロナグラフを三鷹に撤収するために乗鞍コロナ観測所閉所作業に参加した。その際、いろいろなものをアーカイブ室として蒐集したものの中に焼印(写真1)がある。



写真1 コロナの焼印

焼印というものをご存じない方もおられよう。通常は炭火の中で鉄でできた印の部分を実赤に焼いて板、木箱などに焼印として押したものである。乗鞍コロナ観測所で炭火が使われたかは知らないが、炭火でなくてもガスコンロ、電気コンロで焼いてもいい。

印の部分が写真2である。



写真2 コロナの焼印の印章

焼印は、昔は所有者を示すためによく使われたものであるが、現在はあまり使用されない。歴史的なものであろうからアーカイブの仲間に入れておきたいと思っている。